
「完全型房室中隔欠損症に対する段階的修復術と一次的修復術の後方視的比較研究」 に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、国際医療センター治験審査委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007年04月01日から2022年12月31日の期間に国際医療センターで完全型房室中隔欠損症修復
に対して手術を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

術後の生命予後、再手術、および房室弁機能を明らかにすることです。

3. 研究期間

病院長の許可後～2024年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2023年10月01日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

病名、先行する肺動脈絞扼の有無、染色体異常の有無、合併奇形の有無。修復術時の年齢、体重、
左右房室弁逆流の程度、術中裂隙閉鎖の有無。最終確認時点での生死、再手術歴、心エコー記録
から左側房室弁逆流・狭窄、右側房室弁逆流、左室拡張末期径、駆出率。

※この研究で得られた患者さんの情報は、国際医療センターにおいて、研究責任者である帆足
孝也が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライ
バシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

完全型房室中隔欠損症と診断された患者さんの検査検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター小児心臓外科	教授	帆足孝也
埼玉医科大学国際医療センター小児心臓外科	講師	平野暁教
埼玉医科大学国際医療センター小児心臓外科	助教	淵上裕司

埼玉医科大学国際医療センター小児心臓外科 助教 永瀬晴啓
埼玉医科大学国際医療センター小児心臓科 講師 葭葉茂樹
埼玉医科大学国際医療センター小児心臓外科 教授 鈴木孝明

4. 試料・情報の管理責任者

国際医療センター病院長

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター小児心臓外科（帆足 孝也）

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：完全型房室中隔欠損症に対する段階的修復術と一期的修復術の後方視的比較研究

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター小児心臓外科 帆足孝也